

2024年1月24日

各位

従来工法の性能を更に追求した
「Hyper-ストレート NT 工法」を開発

株式会社トヨタアサノ

株式会社トヨタアサノ（社長：植松 泰右）と日本コンクリート工業株式会社（社長：塚本 博）は、既製杭工事のプレボーリング型高支持力工法である「Hyper-ストレート NT 工法(先端地盤：砂・礫質地盤)」を共同で開発し、2024年1月12日付けで国土交通大臣の認定を取得しました。

本工法は、既存の高支持力工法である「Hyper-ストレート工法」を踏襲したうえで、適用範囲を拡充し、設計自由度の向上を実現した NEXT (NT) 工法です。

1. 本工法の特長

先行して地盤を全長ストレート掘削したのち、杭を挿入するプレボーリング工法です。根固め部・杭周固定部は同一配合により確実な品質管理を行い、根固め部に位置する先端には溝を有する杭を使用し、根固め部と杭体の一体性をより強固なものとする構造により更なる高支持力化を実現しております。

今回開発しました「Hyper-ストレート NT 工法」では、従来工法（Hyper-ストレート工法）の性能を次の通り向上させております。

- ・適用範囲を拡充し、設計自由度の向上を実現

杭 径 : $\Phi 300 \sim \Phi 1200 \text{mm}$

施工長 : 砂質地盤 GL-65.9m、礫質地盤 GL-69.0m

杭先端平均 N 値 : $17 \leq \bar{N} \leq 60$

- ・更なる高支持力化を実現

杭先端支持力係数 : $\alpha = 417$

砂質地盤における杭周面摩擦力係数 : $\beta = 7.71$

粘土質地盤における杭周面摩擦力係数 : $\gamma = 0.85$

2. 今後の展開

簡易な品質管理のもとに施工が可能で、より確実に高い支持力を提供することが可能となります。全国の多様な地盤や建造物に適用し、市場展開してまいります。

3. 国土交通大臣認定番号

先端地盤 砂質地盤 : T A C P - 0 6 7 7

礫質地盤 : T A C P - 0 6 7 8

以上

～本件に関するお問い合わせ～

<https://www.toyoasano.co.jp/contact/>